

第633回建設技術講習会を盛岡市で開催

今年度の講習会の初回となる第633回建設技術講習会が、盛岡市で平成29年9月6日（水）～8日（金）の間、「工事積算（土木・建築）の動向とi-Constructionの取り組み～土木工事、建築工事における積算の動向や安全管理に関する具体的な取り組み及び生産性の向上に向けたi-Constructionの取り組みについて学ぶ～」をテーマに、全国から240名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の講演が行われました。

- 建設マネジメントの最新事情について
- 公共工事と会計検査
- ヒューマンエラーの原因と対策

講習会2日目は、東日本大震災での被災に関する復旧・復興関連事業紹介2事例のほか、下記の講演がなされました。

- 公共建築工事の円滑な施工確保対策について
- ICT活用工事について
- 土木工事標準歩掛の最近の動向と運用上の留意点について
- 建設工事における事故と安全対策について

講習会3日目の現場研修は、135名が参加して「高田地区海岸災害復旧事業」、「陸前高田市区画整理事業」、「高田松原津波復興記念公園」、「気仙川災害復旧事業」、「大船渡港海岸防潮堤整備事業」、「東北横断自動車道事業釜石秋田線（ICT施工）」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、全国から多くの方々にご参加をいただいている機会を有効に活用し、参加者の知見と人脈を広めることを目的として「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を79名の参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意で、東北五大祭りの一つ「盛岡さんさ踊り」で舞われる踊りの披露もあり、参加した皆様相互の親睦が図られたことはもとより、地元の伝統文化にも触れることができたこと、大変好評を博しました。



現場視察の様子

第634回建設技術講習会を金沢市で開催

第634回建設技術講習会が、金沢市で平成29年9月20日（水）～22日（金）の間、「これからの社会インフラの維持管理・更新～社会資本の戦略的な維持管理・更新と公物管理を巡る紛争事例を学ぶ～」をテーマに、開催されました。台風18号が全国各地に被害を与えた直後ということで、地元災害対応等で講習会に参加できなくなる方もいらっしゃるのではないかと危惧も杞憂に終わり、全国から395名の参加をいただきました。

講習会初日は、下記の講演のほか2事例の地域事業紹介が行われました。

- インフラメンテナンスの時代について
 - 最近における公共事業紛争の判例と動向
- 講習会2日目は、下記の講演がなされました。
- 公営住宅における維持管理と更新について
 - ICT活用工事について
 - 港湾施設の維持管理に関する取り組みについて
 - 下水道事業におけるストックマネジメントについて
 - 革新的河川管理プロジェクト
 - 道路の老朽化対策の取り組みについて

講習会3日目の現場研修は、242名が参加して「金沢城公園整備事業」、「金沢のまちづくり事業」、「いしかわ動物園トキふれあいセンター建設工事」、「北陸新幹線川北橋高架橋建設工事」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、盛岡と同様に「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を67名の参加をいただいて開催しました。地元協会から銘酒のご提供をいただき盛況な交流会となり、交流会終了後も初めて顔を合わせ意気投合した出身地もマチマチな会員同士が、夜の巷にくりだす姿も見受けられました。



現場視察の様子

月刊「建設」平成29年11月号、12月号の
編集計画を審議

－ 機関誌編集委員会 －

平成29年8月25日（金）、協会会議室において新任の稲田雅裕委員長（国土交通省港湾局技術企画課長）はじめ委員16名の出席のもと、機関誌編集委員会が開催されました。

委員会では、まず稲田委員長はじめ4名の委員の交代が報告された後、下記の議事が審議され、執筆者が未定となっている一部を除き、編集計画案が承認されました。なお、執筆者未定の記事については、候補が決まり次第、委員長の承認を得ることになりました。

一 議事

- * 11月号編集計画（案） 特集 地域活性化の推進
- * 12月号編集計画（案） 特集 社会資本のストック効果
- * その他 誌面改善について（モニター制度の実施）

平成29年度公共工事品質確保技術者
資格更新講習が始まる

公共工事品質確保技術者資格試験に合格し資格登録した資格保有者は、3年毎に更新講習を受講して資格登録更新手続きをする必要があります。

この資格登録を更新するための更新講習が、9月4日の東京都を皮切りにして始まりました。最終となる11月17日の高松市まで、東京都を含めて全国9都市で開催されます。更新講習を申し込まれている皆様は、受講場所と日時をご確認のうえ、講習にお越しください。

なお、10月以降の実施都市及び日程は、以下のとおりです。

面接試験実施都市と日程

札幌市 平成29年10月6日(金)	仙台市 平成29年10月20日(金)	新潟市 平成29年10月20日(金)
名古屋市 平成29年10月13日(金)	大阪市 平成29年10月27日(金)	広島市 平成29年10月6日(金)
高松市 平成29年11月17日(金)	福岡市 平成29年10月27日(金)	

【問い合わせ先】 事業課 下野・高野・古川

TEL：03-3585-4546・FAX：03-3586-6640

E-mail：hinkaku@zenken.com

Dr.クマの“健康のヒント”

昔の病気？



本欄担当のKさんから質問があった。結核が集団発生し、死亡例も出たとのことだが、なぜ現代に結核が？というものである。昭和20年代まで結核は国民病とされ多くの人々が結核の犠牲になっていた。特に青年期に発症し早世した有名人も多く、沖田総司、樋口一葉、石川啄木と思いつくままに挙げることができる。しかし、特効薬の発見と栄養・衛生状態の改善により結核は激減し、近年では過去の病気と思われるようになったわけである。しかし、撲滅されたわけではなく、毎年3万人が発症しているのが現実だ。結核菌は体内にはいった場合、大半は免疫の力で死滅するが、生き残った場合には「こぶ」や「いぼ」のような塊をつくる。これが活動して炎症

を起こすのが発症である。発症していない場合にも体内に結核菌は潜んでいることがあり、高齢者、健康状態が悪い人、免疫を抑える薬を使っている場合などに、発症することがある。このような発症者から菌が排出され、若い人達が新規の発症をしてしまうケースもよくある。決して過去の病気ではないのである。医師は2週間以上続く咳や発熱の場合は肺結核の可能性を考えるのが普通であり、適切な診断を心がけている。検査も進歩しており、短期間で結果が出るようになっている。ただ、最近、結核に限らず薬剤耐性が問題になっており、今回はこれについて書くことにする。

（北里大学医学部 教授 熊谷 雄治）